

令和3年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

施設名	大和市下草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下草柳会館管理運営委員会 会長 齋藤 俊衛
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
下草柳	34	1,610	57	63	1,764	5.7	308

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

	事業名	開催期間	参加者数
4	週変わり工作(マグネットづくり)		33人
5	工作(好きな工作5種類)		43人
6	6月の工作(ポーチ、小物入れなど)	6/8～12	52人
	七夕飾り・短冊作り(七夕飾り、お花紙で球形飾り)	6/22～30	6人
7	マクラメ工作(ブレスレット)	7/6～10	21人
	マスクケース(フェルトときらきらビーズ)	7/20～24	45人
	プラ板工作(キーホルダー、ネックレス)	7/1～31	6人
8	夏休み工作(手作りハガキ)	8/6～9	18人
	夏休みのお楽しみ(釣りゲーム、つかみ取り)	8/11	15人
	夏休みのお楽しみ(ターゲットボール、くじ引きなど)	8/20	41人
	色々な工作(好きな工作5種類)	8/18～29	21人
9	自由工作(ぶんぶんゴマ、ビーズブローチなど)	9/1～4	22人
	あんどんづくり(ペットボトルとLEDライト)	9/7～11	27人
	ちじみ君(蛍光プラ板)	9/22～24	21人
10	ハロウィン工作(ブローチ、ポンポン)	10/8～11	4人
	ハロウィンお楽しみ会(写真カード)	10/31	38人
11	作って遊べる工作(風車、紙でっぽう、変わり手裏剣など)	11/5～8	19人
12	クリスマス工作(オーナメント)	12/7～11	13人
	クリスマス会(パネルシアター、ビンゴなど)	12/18	35人

1	お正月の工作(トラ、だるまの起き上がりこぼし)	1/11~15	14人
	お楽しみ会(中止。カード、参加賞のプレゼント)	1/30	39人
2	ひな飾り(ひな人形)	2/8~26	7人
3	可愛い動物のボンボン(毛糸でボンボン)	3/8~12	16人

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,787,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,647,000
休館中の精算分 (空調工事期間)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	137,312
収入計(①)	2,787,000	支出計(②)	2,784,312

収支決算	2,688
------	-------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和4年3月に利用者アンケートを実施し、令和3年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・コロナ対策の徹底が継続されており、安全安心な居場所として、多くの児童に利用してもらえる結果になったことについて、高く評価します。 ・じどうかんだよりをホームページに掲載し、児童館のイベントや活動の様子を発信していることについて、高く評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・コロナ対策をしっかりと講じ、イベントや工作などに積極的に取り組み、今年度、計画したすべての自主事業を実施できたことについて高く評価します。 ・工作は種類も多く、利用者の関心や興味を引く内容を工作に取り入れており、創作意欲を向上させるよう努めるとともに毎月開催することで児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・週変わり工作や、好きな工作を選べるようにするなど、他の児童館の模範となる良い取り組み事例となっています。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。